

(公財) 日本ユニセフ協会 国際協力人材養成プログラム 海外インターン ユニセフ現地事務所派遣事業

応募〆切：2018年10月12日(金)午後5時書類必着

(公財)日本ユニセフ協会では、国際支援の現場で活躍する日本人を増やすための「国際協力人材養成プログラム」の一環として、大学院生をユニセフ現地事務所に派遣する、海外インターンを募集しています。同事業は、日本ユニセフ協会が2001年より実施している事業です。

合格者は3~4ヵ月間、ユニセフの現地事務所でインターンとして活動します。帰国後、その経験を活かして外務省のJPOや国連ボランティア(UNV)などに合格される方も数多くいます。

国際協力・国際開発・子どもの人権などに関心のある修士課程、博士課程に在籍中のみなさん、この機会にぜひ応募してみませんか？

◆ 応募資格

- (1) 日本国籍を有し、応募時に修士課程または博士課程の大学院在籍者。35歳未満の方を優先します。
- (2) ユニセフの業務言語(主に英語)に堪能であること。TOEIC 900点以上、IELTS 7.0以上、TOEFL iBT 100点/ PBT 600点以上のいずれかが必要となります。

◆ インターン実習内容

基本的には専攻分野に関連するプロジェクトに配属され、事務所スタッフ、あるいは部署の指導の下に、プロジェクトの計画、実施、評価等の作業に加わります。実習に必要なスペースや消耗品などは、受け入れるユニセフ事務所より提供されます。

◆ 実習期間・時期

期間は最低10週間、最大16週間です。派遣時期は原則として2019年6月から12月までの期間です。

募集要項・応募方法は、下記をご覧ください。

www.unicef.or.jp/inter/inter_haken.html

海外インターン ユニセフ



検索



こちらのQRコードからも募集ページを見られます。

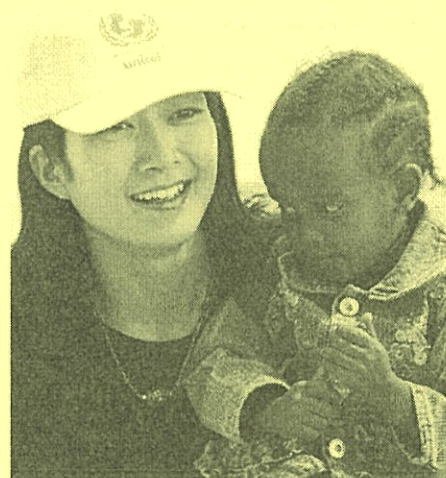
先輩からのメッセージ

ユニセフ エチオピア アディスアベバ事務所派遣
ロビンソン 麻己（旧姓：石原）さん
海外インターン派遣期間：2008年10月～2009年1月

私は社会人経験3年を経て、日本ユニセフ協会主催の海外インターン事業に合格、ユニセフ・エチオピア事務所へ派遣され、子どもの保護の仕事を担当しました。

インターン期間に、遊びを通じたコーチング指導を行うワークショップの企画・開催、ユース・インターンシップ・プログラムのモニタリング評価など、ユニセフの現地事務所へ赴かないとできない有意義な経験をすることができました。

幸運にもインターン終了後もそのままコンサルタントとして現地で勤務を続けることができ、現在はユニセフ正規職員として、バングラデシュ事務所に勤務しています。皆さんもこの機会にぜひチャレンジしてみてください。



過去3年間の派遣実績

◇ 2017年度合格者（2018年派遣）

派遣者数：5名（応募者数13名）

専攻： 国際開発、国際教育開発、工学、国際児童学

派遣先： ジュネーブ、カメルーン、バングラデシュ他（調整中）

◇ 2016年度合格者（2017年派遣）

派遣者数：5名（応募者数14名）

専攻： 国際教育開発、国際開発、行政開発、熱帯医学

派遣先： マラウイ、ガーナ、ブラジル、ラオス、インド

◇ 2015年度合格者（2016年派遣）

派遣者数：5名（応募者数19名）

専攻： 教育発達科学、政治学、公衆衛生学、国際開発

派遣先： ネパール、マダガスカル、タンザニア、カンボジア、ベトナム

<日本ユニセフ協会 海外インターンプログラム問合せ先>

公益財団法人日本ユニセフ協会 学校事業部

電話 03-5789-2014 Fax 03-5789-2034

E-mail seminar-dr@unicef.or.jp